

平成 27 年度 北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況と今後の取組(案)

1 総合戦略の推進に向けた基本的な考え方

本市は、女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の「成功モデル都市」を目指すため、昨年 10 月、北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。

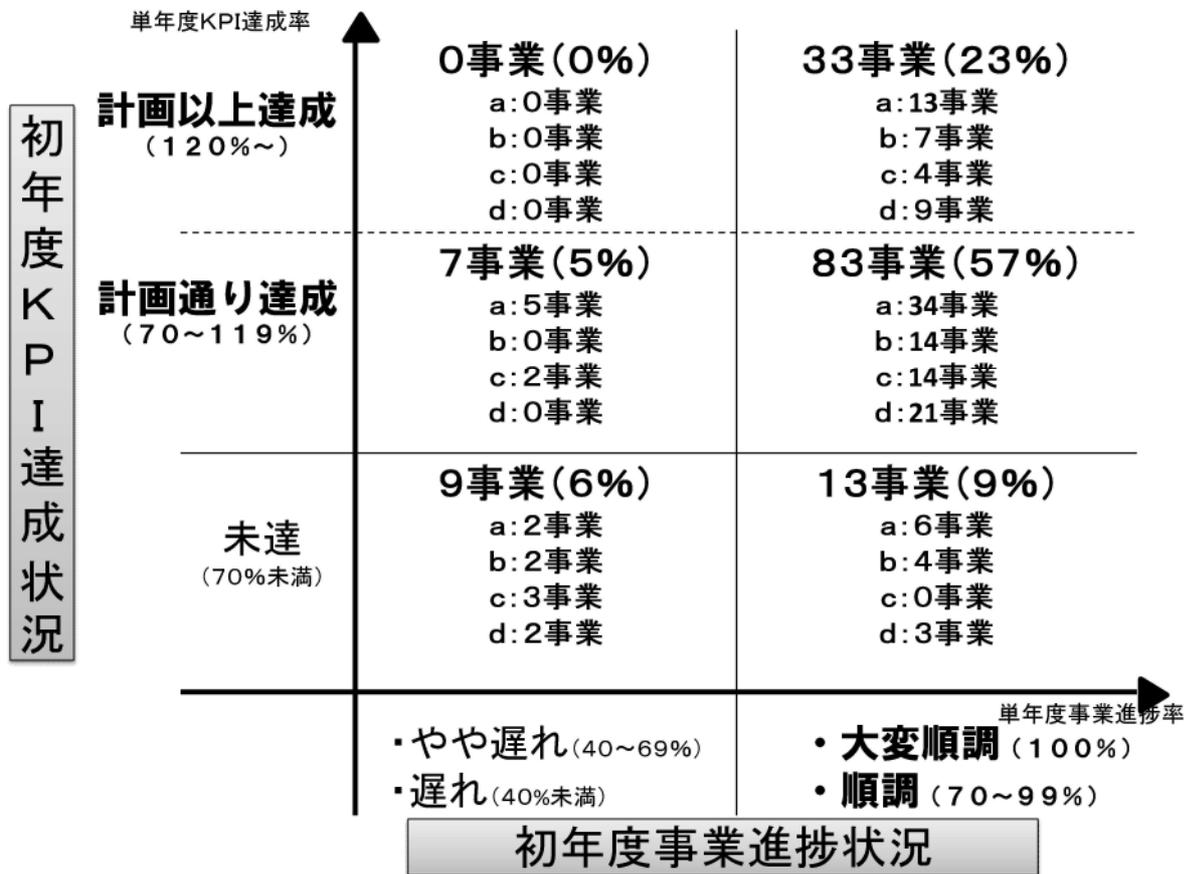
市では、総合戦略に掲げた全ての事業について速やかに着手し、基本目標の実現に向けて精力的に取り組んでいるところである。ただし、5 年後を目指している戦略のため、現時点では事業の効果が既に現れているものや、現在は効果が現れていないが今後効果の出現が見込まれるものなど、事業の進捗に差がある。

したがって、まずは、それぞれの事業を推進協議会と連携して着実に推進し、成果を上げることに注力していくものであるが、併せて、全事業の成果（KPI）を評価・検証し、結果に応じて総合戦略の見直しを行うことにより、総合戦略の基本目標達成に向けた継続的な改善を行っていく。

2 総合戦略における事業の進捗状況と今後の取組の方向性

総合戦略に掲げる事業について、平成 27 年度末時点の KPI の達成率及び事業進捗率の相関により、各事業を 6 分割に分けて評価し、全体の進捗率と事業の今後の取組について方向性を示すもの。

(1) 全体評価 (平成 27 年度分)



※評価対象事業数：145 事業。事業の内容により KPI が数値目標とできなかったものは除外した。

★KPI とは

…Key Performance Indicator の略。施策ごとの達成すべき成果目標。

- (凡例)
- a：北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
 - b：北九州市への新しいひとの流れをつくる
 - c：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - d：時代に合った魅力的な都市をつくる

総 括

初年度における総合戦略の全体の進捗としては、85%がKPIを計画以上又は計画通りに達成している。これらの事業については、事業を加速化させるとともに、KPIのかさ上げ等により事業を強化する。

一方、KPIが実績として上がっていないものの原因としては、①事業着手直後で戦略策定から半年では成果が現れていないものや、②市（行政）以外の事業実施主体の事情によるものなどが主な要因であった。効果の出現までに一定の時間を要するものについては着実に事業を進めるとともに、必要なものについては目標であるKPIの達成に向けてその手段である事業自体のあり方の見直しなども進める。

今後は、女性と若者の定着に向け、市（行政）と推進協議会が連携を更に強化し、地方創生の実現に向けて動きを加速させていく。

（2）各政策パッケージの進捗状況

ア 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

北九州空港の利用促進など47事業については、事業を加速化させ推進していく。特に北九州ゆめみらいワーク事業など13事業については、KPIを計画以上に達成し、事業も順調であることから、KPIの嵩上げ等更に事業を強化する。

イ 新しいひとの流れをつくる

都心集客アクションプラン推進事業など21事業については、事業を加速化させ推進していく。特に東アジア観光客誘致推進事業など7事業については、KPIを計画以上に達成し、事業も順調であることから、KPIの嵩上げ等更に事業を強化する。

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

企業マネジメント改革支援事業など21事業については、事業を加速化させ推進していく。特にダイバーシティ人材養成事業など4事業については、KPIを計画以上に達成し、事業も順調であることから、KPIの嵩上げ等更に事業を強化する。

エ 時代に合った魅力的な都市をつくる

海外作品誘致・支援事業など 30 事業については、事業を加速化させ推進していく。特に等9事業については、KPI を計画以上に達成し、事業も順調であることから、KPI の嵩上げを検討する。

3 各政策パッケージにおける基本目標の達成状況等

(1) 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

ア 進捗状況

項目	H31 年度（目標）	H26 年度	H27 年度
市内大学生地元就職者数	年間約 1,200 人	814 人	813 人
市内新規雇用者数	累計 2 万人	—	3,378 人
空港利用者数	年間 200 万人 ※H32（目標）	126 万人	132 万人
航空貨物取扱量	年間 30 千トン ※H32（目標）	15 千トン	7 千トン
ものづくりと環境エネルギーに関する経済波及効果	累計 約 9,500 億円	—	891 億円

イ これまでの主な取組

- キャリア教育イベント「北九州ゆめみらいワーク」の開催
- 北九州空港国内線定期便、チャーター便・臨時便は過去最高を達成
- 地域エネルギー会社や環境エレクトロニクス研究所の設立
- バイオマス混焼発電所の建設開始
- 「シニア・ハローワーク戸畑」の開設（全国初）

ウ 今後の取組

新成長戦略に基づいた更なる新規雇用創出や、大学、行政、経済団体との緊密な連携のもとに、市内企業の協力を得ながら、COCプラス事業と一体となったインターンシップや、U・Iターン事業の充実等により地元就職の促進を図る。

また、福岡県との緊密な連携による新規航空路線の誘致や東九州自動車道

の全線開通に伴う、より広範囲からの集貨に取り組み、空港利用者数及び航空貨物取扱量の増加を図る。

(2) 新しいひとの流れをつくる

ア 進捗状況

項目	H31 年度 (目標)	H26 年度	H27 年度
首都圏からの本社機能移転等	累計 30 社	—	2 社
小倉駅新幹線口年間集客数	年間 300 万人以上	297 万人	337 万人※
外国人観光客数	年間 26 万人	16.7 万人	25.2 万人※

※：第4回推進協議会開催時点で未公表。会議後に数値が確定。

イ これまでの主な取組

- 本社機能の移転・拡充促進インセンティブ（補助金・税控除）の創設
- TGC 北九州を 2 年連続開催、北九州ポップカルチャーフェスティバルの開催
- 明治日本の産業革命遺産の世界文化遺産登録決定
- G7 北九州エネルギー大臣会合の開催
- 世界獣医師会－世界医師会 “One Health” に関する国際会議の開催

ウ 今後の取組

首都圏からの本社機能等の移転については、新規インセンティブ（補助金・税控除）を活用し、積極的な企業誘致を図る。

また、スタジアムの活用等による新幹線口エリアにおける大規模イベントの誘致を行うとともに、小倉城周辺の魅力向上やクルーズ客船の誘致を図り、観光客誘致を強化していく。

(3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

ア 進捗状況

項目	H31 年度(目標)	H26 年度	H27 年度
女性の就業率	70%	66%	—
ダイバーシティ行動宣言等 登録・届出企業	累計 800 社	597 社	697 社
合計特殊出生率	政令市トップ クラスを維持	1.56 (政令市 1 位)	1.59* (政令市 2 位)

※：第4回推進協議会開催時点で未公表。会議後に数値が確定。

イ これまでの主な取組

- ウーマンワークカフェ北九州の開設（全国初）
- 北九州市女性創業支援のあり方検討会による市長報告
- 市の全管理職（615名）がイクボス宣言（自治体初）
- 子育て環境に関し、NPO 法人の調査で5年連続政令市第1位の評価を獲得

ウ 今後の取組

国、県と連携を図りながら、「ウーマンワークカフェ北九州」において女性の就業を効果的に支援するとともに、企業の取組を支援する。

様々な機会ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業への呼びかけを行うとともに、登録等を行った企業間の連携を強化し、取組を拡大・深化する。

「産前・産後ケアサポート」や「ペリネイタルビジット利用促進事業」の新規事業の実施など子育て環境の充実を図り、合計特殊出生率の政令市トップクラスを維持していく。

(4) 時代に合った魅力的な都市をつくる

ア 進捗状況

項目	H31 年度（目標）	H26 年度	H27 年度
「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合	80%以上	57%	54%
「安全だ（治安がよい）」と 思っている市民の割合	90%以上	76%	73%
刑法犯認知件数 （人口千人あたり）	政令市で ベスト3	政令市 12位	政令市 13位
公共施設マネジメント	今後40年間で 20%削減※	—	実行計画 策定

※ 平成28～67年度までの目標値

イ これまでの主な取組

- ユースエネルギーサミット（YES）北九州の開催
- 1万人の防犯パトロール大作戦の開催
- 全国学生ボランティアサミットの開催
- 公共施設マネジメント実行計画の策定
- 「戸畑祇園大山笠行事」が含まれる「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録
- 「小倉祇園太鼓」が「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択

ウ 今後の取組

シビックプライドの醸成や地域情報の効果的な浸透を図るとともに、北九州市の良いところや自慢できることについて語る市民参加型の「語り合いを重視したワークショップ」などを開催する。

安全・安心に関する市民意識の高揚や環境整備に加え、1万人の防犯パトロール大作戦など安全・安心に関する取組を市内外に発信する。

「北九州市公共施設マネジメント実行計画」を着実に推進するため、進捗状況の的確な把握及び評価を行う「5ヶ年行動計画」を策定するなど、PDCAサイクルにより実効性を確保する取組を進める。

4 その他の取組

(1) 国家戦略特区の指定

平成 28 年 1 月 29 日付で「国家戦略特区」に指定され、国家戦略特区で認められている全ての規制改革項目が活用可能となった。

「公道を活用したにぎわいの創出」として、市内 5 箇所オープンカフェなどを実施した。「シニア・ハローワーク戸畑」が設置され、「介護ロボット等の実証実装」では、作業分析や介護ロボットによる実証などの取組などを実施している。

(2) 地方創生推進交付金を活用した事業の推進

地方創生推進交付金を活用する事業として、平成 28 年 8 月に「関門連携」と「北九州都市圏域の連携」に関する事業が、同年 12 月には「生涯活躍のまちの形成」と「地方創生インターンシップ」に関する事業がそれぞれ国に認定された（参考資料 1、2 参照）。これらの事業は、3～5 年の計画に基づき進めていくものであり、今後は全庁的な取組として積極的に推進していく。

(3) 企業版ふるさと納税を活用した事業の推進

企業版ふるさと納税を活用する事業として、平成 28 年 11 月に「小倉城ライトアップ」と「北九州スタジアムを活用したシビックプライド醸成」に関する事業が国に認定された（参考資料 3）。これらの事業については、市外の企業から寄附を募りながら事業を進めていく。

(4) 地方創生拠点整備交付金を活用した事業の推進

国の平成 28 年度第 2 次補正予算において創設された「地方創生拠点整備交付金」を活用した事業として、「小倉城周辺魅力向上」と「旧安川邸利活用」に関する事業を平成 28 年 12 月議会にて補正予算が議決された。今後は国から事業認定を受け本格的に整備を開始する。

地方創生推進交付金 交付対象事業一覧
(6月補正予算計上分)

【北九州市、下関市共同提案事業】

「かんもん海峡都市」観光まちびらき・形成連携事業
(連携中枢拠点都市が連携した観光推進事業)

事業名	事業概要	予算額 (千円)	交付決定額 (千円)
1 関門海峡都市・観光まちびらき連携事業	関門地域の地理的優位性や多彩な観光資源を活かすため、夜間ライトアップによる景観の向上や関門海峡周遊バスの運行、関門地域で利用できる多言語対応アプリケーションの開発等通じ、訪日観光客の受入環境を整備する。	55,000	27,500
2 関門地域魅力向上事業	関門地域での観光客増加のため、新たな観光資源を掘り出しブランド化等を行うとともに、大規模なイベント等を実施することで関門連携を本格的にスタートさせる。 また、民間活力を導入した新たな観光スポットの整備を目指して、現況調査等を行う。	62,500	31,250
3 関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業	関門海峡を中心とした北九州市・下関市のロケ地としての魅力等を活用し、国内外の映画・テレビドラマを誘致する。	30,000	15,000
北九州市分		147,500	73,750
下関市・北九州市の合計		210,500	105,250

【北九州都市圏域(注)(17市町)共同提案事業】

連携中枢都市圏「北九州都市圏域」による『きりん』の輝き推進事業

事業名	事業概要	予算額 (千円)	交付決定額 (千円)
1 北九州都市圏域連携事業	北九州都市圏域でのブランディング構築に向けた調査、プロモーションの検討を行うとともに、首都圏での北九州都市圏域PRイベントを行う。	37,000	18,500
2 北九州空港を利用した「きりん」エリアの魅力発信事業	北九州空港を基点とした北九州都市圏域の魅力を発信するため、周遊ルートの開発、プロモーション、ファムツアー(旅行業界・メディア業界等の関係者を対象にした現地体験ツアー)を実施する。	20,000	10,000
3 世界遺産関連連携事業	世界遺産をはじめとした産業遺産の魅力を多くの方々にPRするため、産業遺産ツアー、世界遺産・環境ツアー等の検討・準備を行うとともに、世界遺産施設に係る説明員を配置する。	5,000	2,500
4 「関門海峡都市」観光まちびらき・形成連携事業と協調した夜景観光促進事業	北九州都市圏域での周遊観光促進、観光滞在時間・宿泊者の増加を図るとともに、「関門海峡都市」とも連携した夜景観光を促進するため、周遊観光の拠点のひとつである若戸大橋のライトアップの検討を進め、整備計画を策定する。	10,000	5,000
北九州市分		72,000	36,000
17市町の合計		80,500	40,250

注)北九州都市圏域を構成する市町名

北九州市、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町

参考資料2

地方創生推進交付金 交付対象事業一覧
(9月補正予算計上分)

事業グループ 1
北九州市版「生涯活躍のまち」形成事業

事業名		事業概要	予算額 (千円)	交付決定額 (千円)
1	シニア活躍！セカンドキャリア支援プロジェクト事業	シニア・ハローワークのオープンを機にシニア求人支援員を配置するなど、セカンドキャリア支援に関するマッチングを効率・効果的に行う仕組みづくり等を行う。	10,000	5,000
2	(仮称)介護アシストツール導入検証事業	国家戦略特区関連事業のうち、介護ロボット等導入検証事業について、制度改革につなげるための評価方法の整理・検討やPRを行う。	20,000	10,000
小 計			30,000	15,000

事業グループ 2
「そうだ！北九州で働こう」若者の地元就職促進事業

事業名		事業概要	予算額 (千円)	交付金決定額 (千円)
1	地方創生インターンシップモデル事業	市内学生を対象としたインターンシップ事業を拡充し、対象者に東京圏の大学生等を加えるほか、学生受入れに向けた地元企業への支援を行う。	10,000	4,250
小 計			10,000	4,250

合 計			40,000	19,250
-----	--	--	--------	--------

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税) 活用事業一覧

事業名	事業概要	予算額 (千円)	うち 寄附予定額 (千円)
1 小倉城ライトアップ事業	小倉城周辺の観光資源を活かしたエリアの魅力向上を図るため、小倉城の夜間のライトアップを実施する。 当該エリアの魅力向上により、本市への国内外からの観光客増加を図るもの。	25,000	25,000
2 北九州スタジアムオープニングイベント実施事業 (スポーツを通じたシビックプライド醸成事業)	北九州スタジアムオープンにあわせたラグビーマッチを開催することにより、本市のイメージアップやにぎわいづくりに寄与する。 また、トップチームの選手・コーチによる市内中高生や指導者を対象としたラグビー指導等を実施し、明日の本市を担う子ども達にスポーツを通じて夢を与えるとともに、子どもたちの健全育成に資するもの。	47,000	5,000
合 計		72,000	30,000

「地方創生拠点整備交付金」を活用した事業一覧

(12月補正予算計上分)

	事業名	事業概要・主な事業	予算額 (千円)	うち 交付金 (千円)
1	小倉城周辺 魅力向上事業	<p>小倉の歴史・文化を生かした居心地の良いおもてなし空間を創出するため、小倉城の物販等の施設整備や天守閣内の展示リニューアルを行う。</p> <p>これにより、小倉城エリアにおけるにぎわいの創出や観光客の回遊性向上、滞在時間の延長による消費の拡大などを図る。</p>	280,000	139,000
2	旧安川邸 利活用事業	<p>戸畑区の夜宮公園に隣接している安川家の旧邸宅とその周辺を市の新たな観光拠点として改修・整備するため、意匠、耐震調査や建築、駐車場、外構工事を行う。</p> <p>また、整備後は、民間活力を活用した喫茶や飲食の提供等により、世界遺産等との周遊性を高めるとともに、インバウンドの取り込みを図る。</p>	330,000	165,000
合 計			610,000	304,000